

事業番号	02 09 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	市町村の行財政支援事業費				部局	企画振興部	課・室	地域振興課・市町村課	
					実施期間	S41 ~	E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp shichoson@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	6-1 個性豊かな地域づくりの推進								

1 現状と課題

人口減少、少子高齢化の更なる進展に伴い、特に小規模な市町村が多い本県において、今後も持続可能な形で行政サービスを提供するためには、市町村間、県・市町村間の連携が一層重要である。

2 事業目的

地域を支える市町村が、持続的・効果的な行政サービスを提供できるよう、財政の健全化や、税の徴収率向上による歳入の確保に向けた支援、市町村間連携の促進等に取り組むことで、「自治の力みなぎる県」を目指す。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①合併市町村の均衡あるまちづくりを支援

合併市町村が行う合併に伴い懸念される事項の解消に資する事業に対し、市町村合併特例交付金を交付

②市町村が広域的に連携して取り組む事業を支援

市町村が広域単位で連携して取り組む事業を支援するため、「市町村の広域連携推進事業交付金」を交付

（主な市町村事業）

- ・成年後見支援センター、消費生活センターの共同設置
- ・移住希望者を対象とした相談窓口の設置やセミナーの開催
- ・連携市町村共通の課題やテーマによる合同研修の実施 等



オンライン移住セミナーの開催

③マイナンバーカードの普及促進を図るための市町村支援

行政のデジタル化とその基盤となるマイナンバーカードの普及促進のため、次の取組を実施し市町村を支援

（実施事業）

- ・商業施設等での申請受付
- ・申請受付車両（マイナちゃんカー）での申請受付
- ・上記の他、国・市町村の取組やカードの利便性を広報

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	圏域全体の活性化に取り組む圏域数	圏域	9	9	→	9	→	9	達成	地域活性化に取り組むために複数の市町村が連携して形成する圏域数（連携中枢都市圏及び定住自立圏（7圏域）並びに北アルプス連携自立圏及び木曽広域自立圏（2圏域））を成果指標に設定	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	454,290	24,920	479,210	429,210	476,134	4.0
R3年度	0	624,350	0	624,350	624,350	619,329	3.5
R2年度	0	710,820	△ 35,300	675,520	675,520	639,556	3.5

事業番号	02 09 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	市町村の行財政支援事業費		部局	企画振興部	課・室	地域振興課・市町村課

6 主な取組実績と成果

<p>①市町村合併特例交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> 合併市町村が行う合併に伴い懸念される事項の解消に資する事業に対し、市町村合併特例交付金を交付 →13市町村・42事業に対して総額393,210千円を交付 <p>②市町村の広域連携推進事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村が広域単位で連携して取り組む事業に対して、「市町村の広域連携推進事業交付金」を交付 →11市町村に対して総額32,926千円を交付 <p>主な取組：成年後見支援センターの設置、移住希望者を対象とした相談窓口の設置やセミナーの開催、連携市町村共通の課題やテーマによる合同研修の実施 等</p> <p>③マイナンバーカードの普及促進を図るための市町村支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内10広域でマイナンバーカードの出張申請受付を実施 商業施設等：28回、計1,816件の申請受付 申請受付車両（マイナちゃんカー）：326回、計3,392件の申請受付 テレビCM（4社156回）やラジオスポットCM（2社36回）、新聞広告掲載（2回）、チラシ作成等を行うことで、カードの利便性や安全性の周知を図るとともに、上記取組の効果が最大化するよう広報活動を実施

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	圏域全体の活性化に取り組む圏域数	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
7圏域における国の支援制度（連携中枢都市圏・定住自立圏）による取組のほか、市町村相互の連携協約の締結により北アルプス地域5市町村において「北アルプス連携自立圏」（H28～）、木曽地域6町村において「木曽広域自立圏」（H30～）を形成し、「市町村の広域連携推進事業費」による支援を受けながら、圏域全体の活性化に向けた取組を実施している。							

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少、少子高齢化の更なる進展に伴い、特に小規模な市町村が多い本県において、今後も持続可能な形で行政サービスを提供するためには、引き続き、市町村間、県・市町村間の連携が一層重要である。 マイナンバーカードの普及促進にあたり、より効率的に出張申請受付を行うため、事前に個人や企業などに対し、申請予定人数や受付時間、出張場所、希望するサポート（写真撮影等）などのニーズを把握する必要がある、市町村や関係団体との調整が必要であった。 <p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来を見据えた行政課題に対応するための自治体の広域連携の在り方の検討や、市町村同士の連携した取組への支援を引き続き実施する。 マイナンバーカードについては、多くの県民が取得する状況となってきたことを踏まえ（R5.7.31保有率69.1%）、申請が困難である方（施設入居者等）を対象とした取組を検討していく。
--

事業番号 02 09 01 **細事業一覧（令和4年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	市町村の行財政支援事業費	部局	企画振興部	課・室	地域振興課・市町村課
-----	---------------------	----	-------	-----	------------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	市町村合併特例交付金	609,990 千円	588,350 千円	393,210 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	市町村合併特例交付金	交付金	合併により生じた旧市町村間の地域格差等の行政課題を解消するための事業に対し、交付金を交付 13市町村・42事業、交付総額393,210千円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	市町村の広域連携推進事業費	29,566 千円	30,979 千円	32,926 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	市町村の広域連携推進事業交付金	交付金	連携ビジョンに基づく事業を実施する市町村に対し、交付金を交付 交付対象地域11市町村（北アルプス地域、木曽地域）、交付額32,926千円	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	マイナンバーカード普及促進事業費			49,998 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	マイナンバーカード普及促進事業	委託	商業施設等や申請受付車両によるマイナンバーカードの出張申請受付の実施や、県の取組(国・市町村の取組を含む)及びマイナンバーカードの利便性の広報を実施 商業施設等での申請受付1,816件、申請受付車両による申請受付3,392件	